

NY マーケットレポート (2017年6月15日)

NY 市場では、序盤に発表された米新規失業保険申請件数や、NY 連銀製造業景気指数など製造業関連の経済指標が良好な結果となったことを受けて、ドルは大半の主要通貨に対して堅調な動きとなった。

また、米国の利上げが年内あと 1 回あるとの見方から、日米金利差拡大を意識したドル買い・円売りに加え、トランプ米大統領が「GDP はとても良い数字が近く発表される」と発言したことも後押し材料となった。

一方、MPC(英中銀金融政策委員会)で、政策金利の据え置きが決定されたものの、0.50%への利上げを支持したメンバーが 3 人(前回 1 人)となり、2007 年以降で最も利上げ決定に近い投票結果となったことを受けて、ポンドは大半の主要通貨に対して上昇となり、ポンド/円は発表後約 1.5 円の上昇となった。

2017年6月15日(木)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	109.51	109.81	109.27
EUR/JPY	122.59	123.20	122.41
GBP/JPY	139.40	139.99	139.35
AUD/JPY	83.28	83.60	82.94
EUR/USD	1.1194	1.1228	1.1180

LONDON	高値	安値
USD/JPY	110.16	109.50
EUR/JPY	122.99	122.41
GBP/JPY	140.75	139.21
AUD/JPY	83.51	83.22
EUR/USD	1.1194	1.1154

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	110.91	110.98	110.09
EUR/JPY	123.62	123.72	122.90
GBP/JPY	141.54	141.59	140.18
AUD/JPY	84.07	84.10	83.47
NZD/JPY	79.95	79.99	79.25
EUR/USD	1.1147	1.1169	1.1132
AUD/USD	0.7581	0.7589	0.7568

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	21359.90	-14.66
S&P500	2432.46	-5.46
NASDAQ	6165.50	-29.39
日経225(CME)	19870	+20
トロント総合	15160.42	-9.71
ボルサ指数	49139.70	-151.33
ボベスパ指数	休場	

*ブラジル市場はCorpus Christiで休場

6/16 経済指標スケジュール

09:30	【シンガポール】5月輸出[除石油]
09:30	【シンガポール】5月電子機器輸出
12:00	【ニュージーランド】5月非居住者国債保有率
12:00	【日本】日銀金融政策決定会合[結果公表](時間不確定)
15:00	【ノルウェー】5月貿易収支
15:00	【欧州】5月新車登録台数[EU-27]
18:00	【欧州】1Q労働コスト
18:00	【欧州】5月消費者物価指数
21:30	【米国】5月住宅着工件数
21:30	【米国】5月建設許可件数
23:00	【米国】6月ミシガン大学消費者信頼感指数
23:00	【米国】5月労働市場情勢指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1254.60	-21.30
NY 原油	44.46	-0.27
CME コーン	379.50	+2.50
CBOT 大豆	944.00	+5.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.351%	1.335%
3年債	1.492%	1.465%
5年債	1.758%	1.719%
7年債	1.981%	1.944%
10年債	2.160%	2.129%
30年債	2.784%	2.772%

ドイツ10年債	0.282%	0.226%
英国10年債	1.031%	0.927%

6/16 主要会議・講演・その他予定

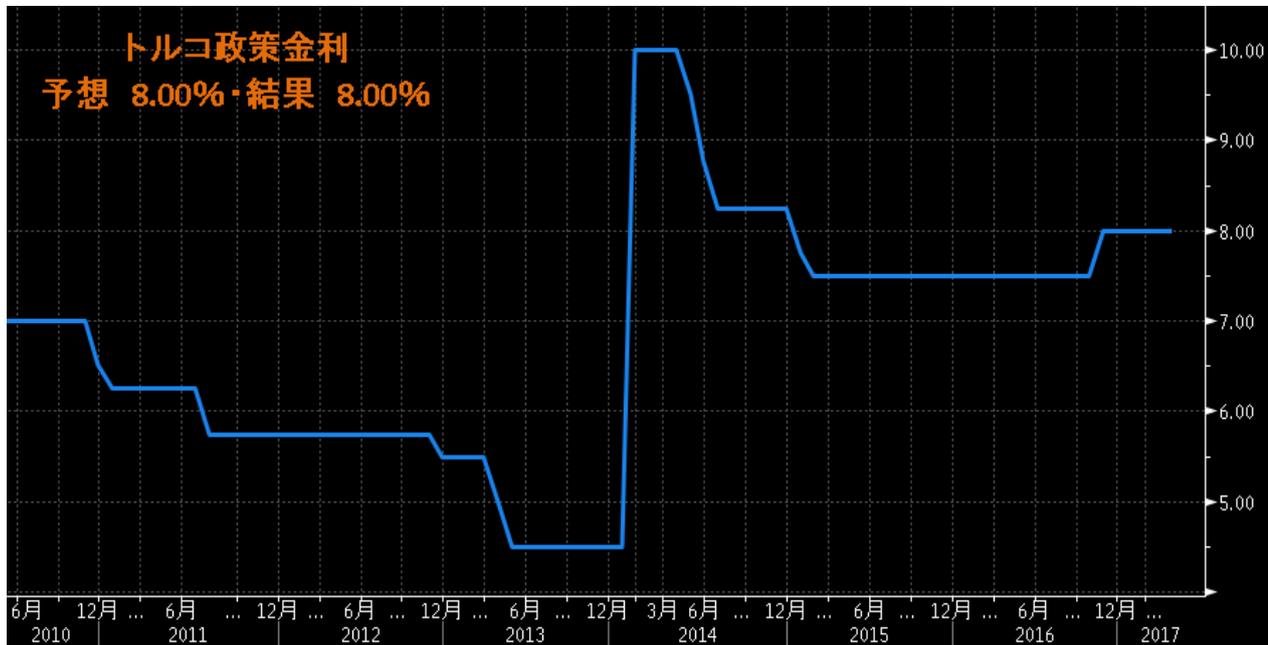
- ・黒田日銀総裁 定例会見
- ・EU経済財務相理事会
- ・ダラス連銀総裁 講演

NY 市場レポート

20 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

トルコ政策金利 8.00% (予想 8.00%・前回 8.00%)



出所 : Bloomberg

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

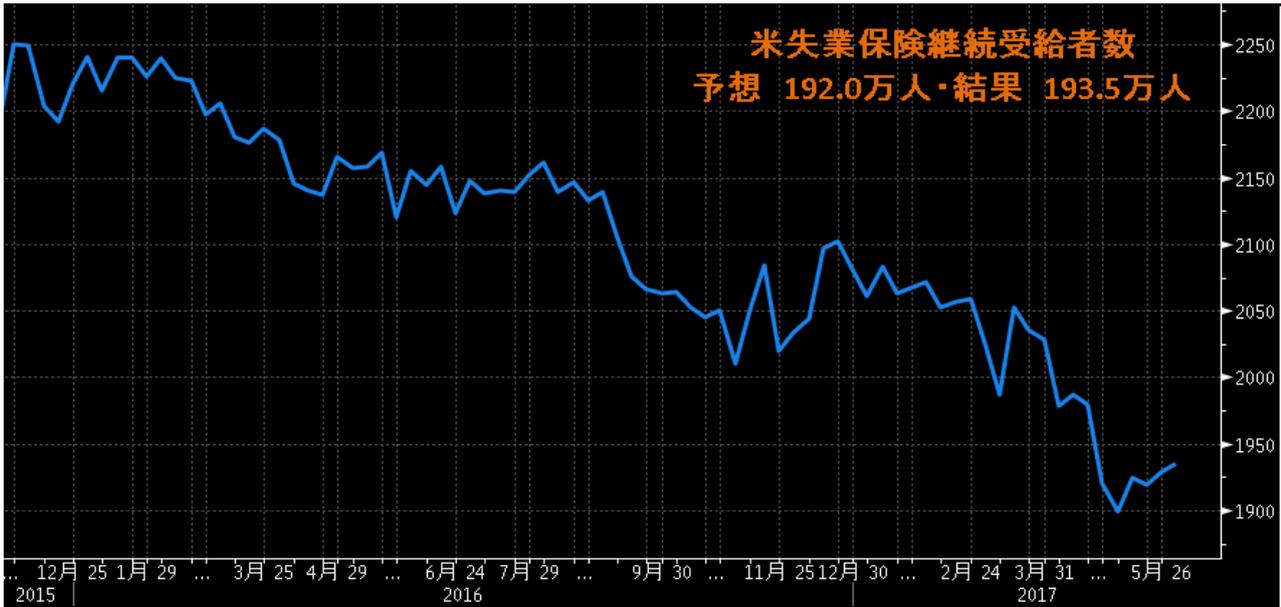
米新規失業保険申請件数 23.7 万件 (予想 24.1 万件・前回 24.5 万件)

米失業保険継続受給者数 193.5 万人 (予想 192.0 万人・前回 192.9 万人)

前回発表の 191.7 万人から 192.9 万人に修正



出所 : Bloomberg



出所：Bloomberg

米失業保険申請件数は、市場予想の 24.1 万件を下回る前週比-0.8 万件の 23.7 万件となり、2 週連続で減少した。申請件数の 4 週移動平均は、前週比+0.1 万件の 24.3 万件となった。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+0.6 万人 193.5 万人となり、2 週連続で増加した。受給者数の 4 週移動平均は、前週比+0.9 万人の 192 万 6750 人。受給者比率は、前週と変わらず 1.4% だった。

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

6月ニューヨーク連銀製造業景気指数 19.8 (予想 5.0・前回 -1.0)



出所：Bloomberg

経済指標データ

＜NY 連銀製造業景気指数＞

現状)

	6月	5月	4月	3月	2月	1月
業況	19.8	-1.0	5.2	16.4	18.7	6.5
仕入価格	20.0	20.9	32.8	31.0	37.8	36.1
販売価格	10.8	4.5	12.4	8.8	19.4	17.6
新規受注	18.1	-4.4	7.0	21.3	13.5	3.1
出荷	22.3	10.6	13.7	11.3	18.2	7.3
在庫	7.7	-0.7	3.6	-2.7	3.1	2.5
雇用者数	7.7	11.9	13.9	8.8	2.0	-1.7

6ヵ月先の見通し)

	6月	5月	4月	3月	2月	1月
業況	41.7	39.3	39.9	37.4	41.7	49.7
仕入価格	33.1	38.1	37.2	41.6	38.8	50.4
販売価格	13.8	22.4	25.5	19.5	25.5	27.7
新規受注	42.2	33.2	31.0	33.9	43.8	39.8
出荷	35.0	37.8	29.2	35.5	41.7	43.4
在庫	-3.1	14.2	13.9	5.3	4.1	5.9
雇用者数	12.3	17.2	19.7	14.2	28.6	27.7

同指標はゼロが景況の分岐を示す

21:30

＜ 経済指標の結果 ＞

5月米輸入物価指数(前月比) **-0.3%** (予想 **-0.1%**・前回 **0.2%**)
 前回発表の**0.5%**から**0.2%**に修正

5月米輸入物価指数(前年比) **2.1%** (予想 **2.9%**・前回 **3.6%**)
 前回発表の**4.1%**から**3.6%**に修正



出所: Bloomberg

5月の米輸入物価指数は、市場予想の-0.1%を下回る前月比-0.3%となり、2ヵ月ぶりのマイナスとなった。前年比では+2.1%となった。原油価格の下落を背景に、石油・石油製品が落ち込んだことが影響した。石油・石油製品は、前月比-3.9%、前年比は+16.2%。石油以外の品目では、前月比横ばい、前年比は+1.0%。品目別では、原油が-4.2%、食品は+1.2%、自動車・同部品は+0.1%。輸入元の国・地域別では、中南米が-0.3%、カナダが-0.6%、EU、中国、日本は横ばいだった。また、輸出物価は、市場予想の+0.1%を大きく下回る前月比-0.7%、前年比では+1.4%となった。農産物が-1.6%、農産物以外では-0.6%、自動車・同部品は横ばい。

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

6月フィラデルフィア連銀景況指数 27.6 (予想 24.9・前回 38.8)



出所 : Bloomberg

経済指標データ

◀フィラデルフィア連銀指数▶

	6月	5月	4月	3月	2月	1月
景況指数	27.6	38.8	22.0	32.8	43.3	23.6
仕入価格	23.6	24.2	33.7	40.7	29.9	32.5
販売価格	20.6	15.3	16.6	20.6	10.6	26.8
新規受注	25.9	25.4	27.4	38.6	38.0	26.0
出荷	28.5	39.1	23.4	32.9	28.6	20.5
受注残	14.0	9.0	6.6	14.4	10.7	10.7
入荷遅滞	13.9	6.4	13.2	4.5	4.1	5.4
在庫水準	5.8	1.4	17.8	11.8	-4.7	12.2
雇用者数	16.1	17.3	19.9	17.5	11.1	12.8

6ヵ月先予想

	6月	5月	4月	3月	2月	1月
景況指数	31.3	34.8	45.4	59.5	53.5	56.6
仕入価格	40.9	42.7	34.7	55.7	51.1	49.0
販売価格	28.7	22.9	28.6	40.2	23.5	27.5
新規受注	31.9	47.2	55.9	61.0	51.5	54.5
出荷	38.7	38.5	44.7	54.8	51.7	59.1
受注残	3.4	11.5	22.2	16.7	19.5	25.8
入荷遅滞	0.2	7.8	4.5	7.7	11.5	14.2
在庫水準	20.4	7.4	12.1	16.3	14.1	10.9
雇用者数	30.0	29.2	37.6	38.5	28.5	38.6

22 : 00

< 経済指標の結果 >

5月カナダ中古住宅販売件数(前月比) -6.2% (前回 -1.7%)



出所 : Bloomberg

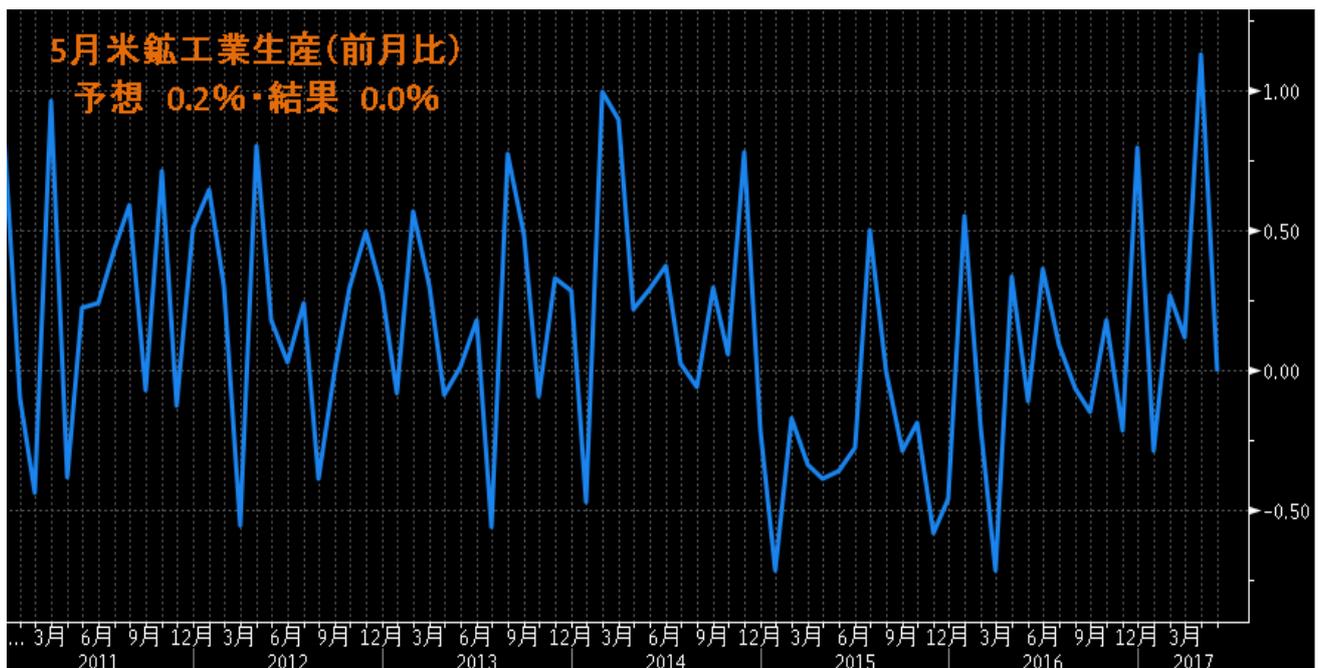
22 : 15

< 経済指標の結果 >

5月米鉱工業生産(前月比) 0.0% (予想 0.2%・前回 1.1%)

前回発表の1.0%から1.1%に修正

5月米設備稼働率 76.6% (予想 76.8%・前回 76.7%)



出所 : Bloomberg



出所：Bloomberg

指標結果データ

◀ 米鉱工業生産・設備稼働率 ▶

	5月	4月	3月	2月	1月	12月
鉱工業生産	0.0	1.1	0.1	0.3	-0.3	0.8
製造業	-0.4	1.1	-0.8	0.4	0.4	0.2
鉱業	1.6	1.5	-0.6	3.6	1.4	-0.3
設備稼働率	76.6	76.7	75.9	75.9	75.7	76.0
製造業	75.5	75.8	75.0	75.7	75.4	75.2
鉱業	84.3	83.2	82.1	82.8	80.0	79.0

5月の米鉱工業生産は、市場予想の+0.2%を下回る前月比0.0%となった。生産指数は、製造業が-0.4%、電力・ガスは+0.4%、鉱業は+1.6%となった。自動車・同部品は-2.0%。5月の設備稼働率は、前月比0.1ポイント低下の76.6%。

23:00

◀ 経済指標の結果 ▶

6月米NAHB住宅市場指数 67 (予想 70・前回 69)
 前回発表の70から69に修正



出所：Bloomberg

指標結果データ

＜NAHB 住宅市場指数＞

	6月	5月	4月	3月	2月	1月
住宅市場指数	67	69	68	71	65	67
現状指数	73	75	74	77	71	72
見通し指数	76	78	75	78	73	76
顧客動向指数	49	51	52	53	46	51

6月のNAHB（全米ホームビルダー協会）住宅市場指数は、市場予想の70を下回る67となり、前月の69（速報値70）からも低下し、4ヵ月ぶりの低水準となった。現況指数は73（前月75）と2月以来の低水準、向こう6ヵ月の販売見通しは76（78）、購買見込み客足指数は49（51）と4ヵ月ぶりの低水準となった。地域別では、全米4地域中3地域で指数が低下。西部では9ポイント低下し、昨年8月以来の低水準となった。また、北東部と南部でも低下。一方、中西部は上昇した。同指数で50を上回ると住宅建設業者の多くが現況を「良い」とみていることを示す。

0:25

＜ 要人発言 ＞

トランプ米大統領

・「GDP はとても良い数字となるだろう」



出所：Net Dania

＜ NY 債券市場 ・ 午前 ＞

序盤のニューヨーク債券市場は、米ニューヨークとフィラデルフィア連銀指数が市場予想を上回ったほか、失業保険申請件数が減少したことから米景気の先行き懸念が後退し、安全資産とされる米国債の売りが先行した。

午前の利回りは、30年債が2.78%（前日2.77%）、10年債が2.16%（2.13%）、7年債が1.97%（1.94%）、5年債が1.75%（1.72%）、3年債が1.49%（1.46%）、2年債が1.35%（1.33%）。

＜欧州のポイント＞

①トルコ中銀は、市場の予想通り主要金利の1週間物レポレートを8.00%に据え置くことを決定した。また、翌日物貸出金利は9.25%、翌日物借入金利は7.25%にそれぞれ据え置き、市場が注目している後期流動性貸出金利も12.25%に据え置いた。エルドアン大統領は借り入れコストの低下を訴えているが、中銀はインフレ率が2桁台に達している現状に配慮した。中銀は、インフレ見通しが大幅に改善するまでは、引き締め型の政策スタンスを継続する姿勢を示した。

②スペイン中銀は、第1四半期の公的債務がGDP比100.4%と、前期の99.4%から上昇したと発表した。スペインは年内に債務比率を98.8%へ低下させる目標を据え置いた。債務比率の目標は2018年が97.7%、2019年が95.4%。

③スイス中銀は、市場の予想通り中銀預金金利は-0.75%に、3ヵ月物LIBORの誘導目標は-1.25~-0.25%に据え置いた。スイスフランへの上昇圧力を軽減するため、超緩和的金融政策を維持すると発表した。中銀はスイスフランについて引き続き「大幅に過大評価されている」と指摘。フラン高抑制のため、マイナス金利と為替市場への介入を継続する意向を示した。

④英中銀は、市場予想通り政策金利を0.25%に据え置き、資産購入枠を4350億ポンド（約61兆円）で維持した。ただ、今回は前回利上げを主張していたフォーブス委員に加え、マカファーティー、ソーンダーズ両委員が0.50%への利上げを支持し、2007年以降で最も利上げ決定に近い投票結果となった。5月の消費者物価指数が前年比+2.9%になるなど、物価がイングランド銀行の目標の2%を大幅に上回っていることが背景にある。

＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、主要株価は軒並み下落となった。英FT100指数は英国の指標が低調となったことなどが影響し、独DAX指数は前日までの上昇で利益確定の売りが広がった。

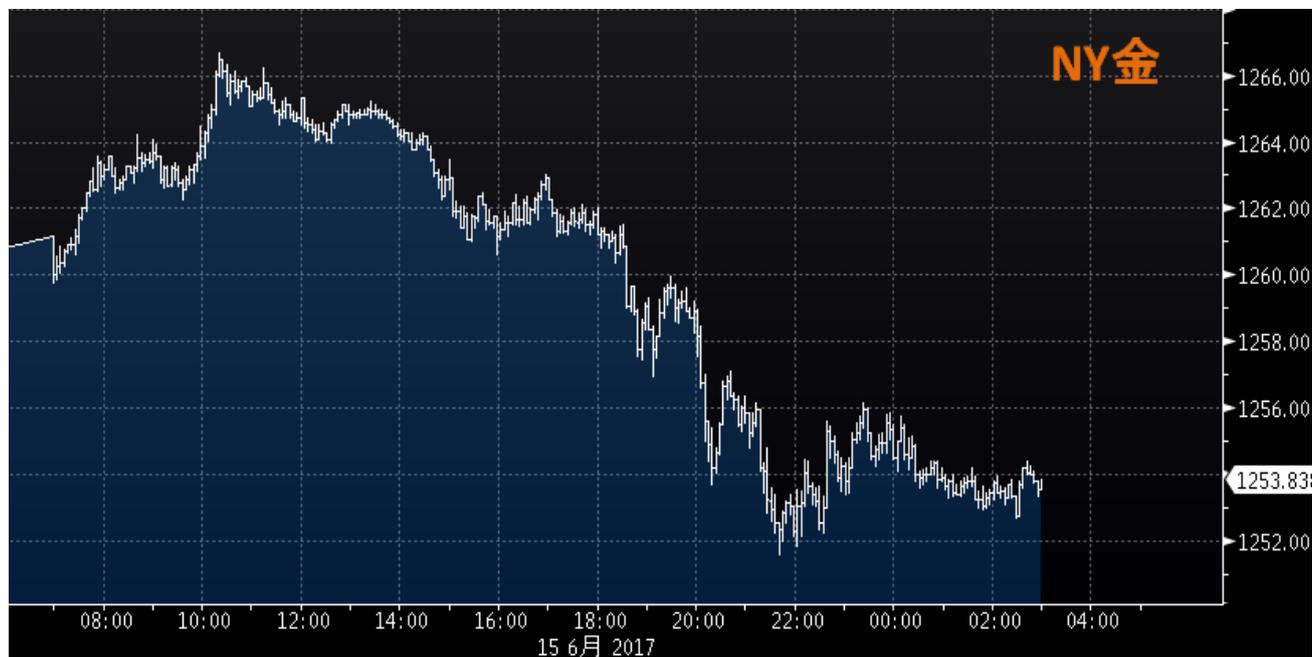


出所：Bloomberg

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 21.30 ドル安の 1 オンス=1254.60 ドルで取引を終了した。

NY 金は、米 FRB が年内にあと 1 回利上げをするとの見方から、ドルが主要通貨に対して上昇となり、ドルの代替資産とされる金を売る動きが優勢となった。終値ベースでは、5 月下旬以来、約 3 週間ぶりの安値水準となった。

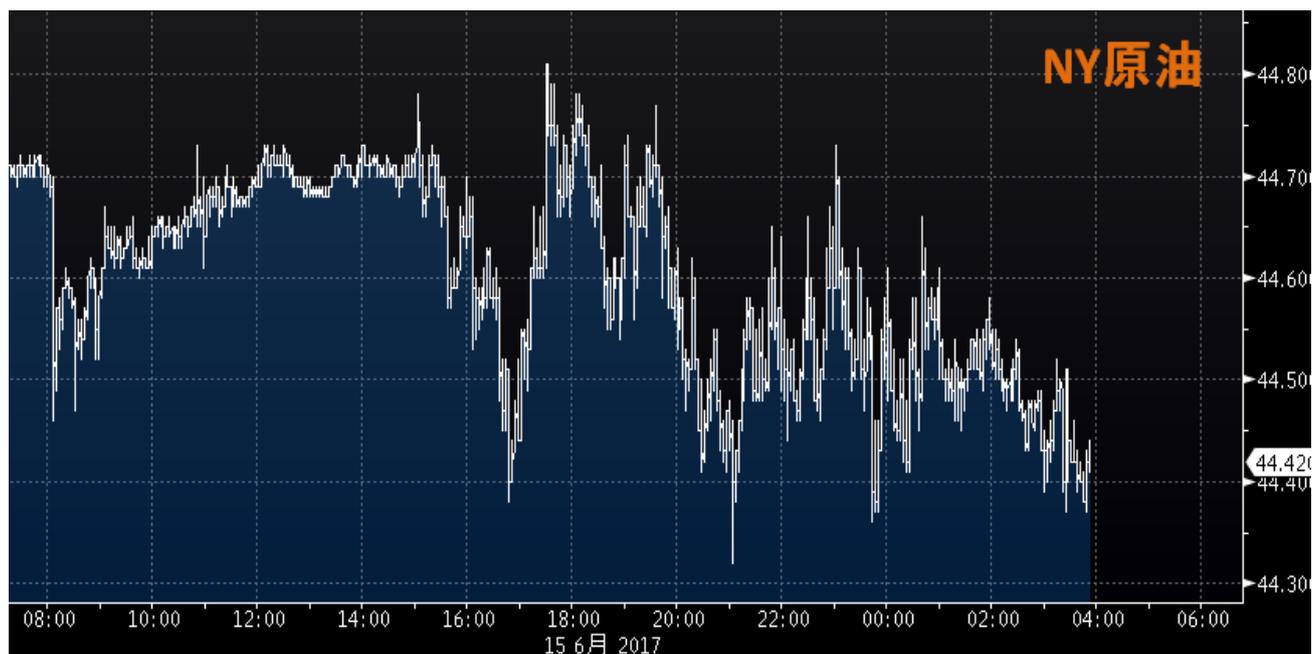


出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.27 ドル安の 1 バレル=44.46 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、世界的な供給過剰への懸念が根強く、売りが優勢となった。また、ドルが主要通貨に対して上昇したことで、ドル建て原油の割高感が出たことも圧迫要因となった。終値ベースでは、昨年 11 月中旬以来約 7 ヶ月ぶりの安値となった。

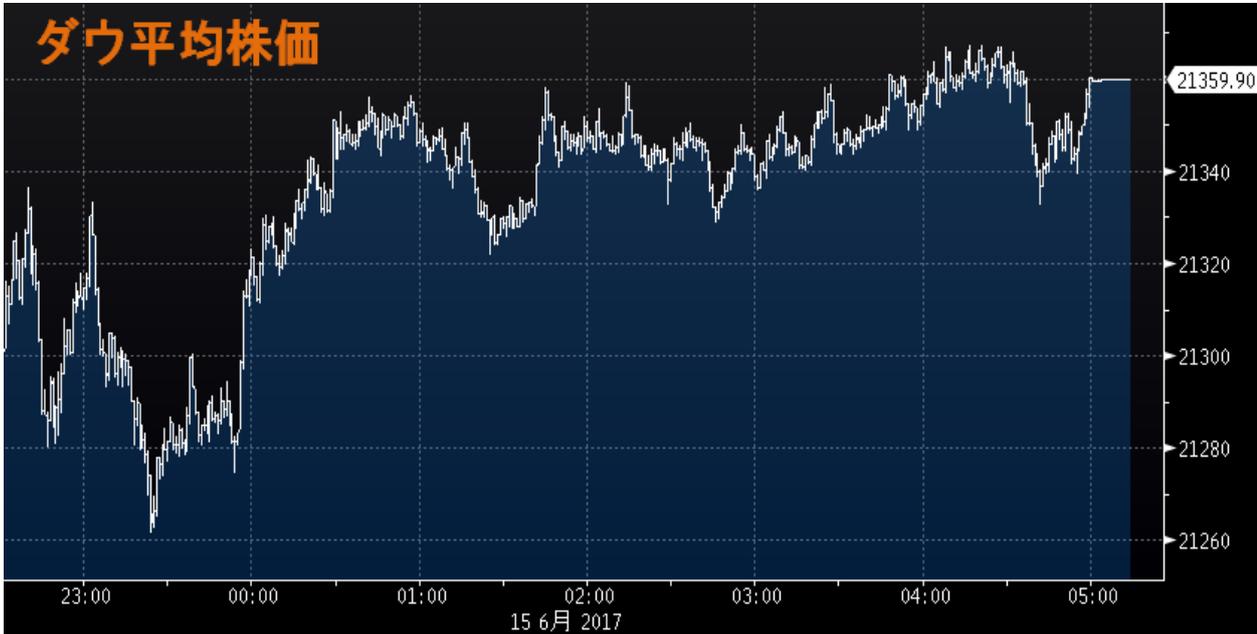


出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、IT株が前日に続き大きく売られたことが影響し、主要株価は序盤から軟調な動きとなった。また、米国の利上げが年内にあと1回あるとの見方も圧迫要因となった。ただ、引けにかけては下げ幅を縮小する動きとなった。

ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比112ドル安まで下落したものの、その後は下げ幅を縮小する動きとなった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米雇用関連や製造業関連の経済指標が良好な結果となったことを受けて、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。また、米国の利上げが年内にあと1回あるとの見方から、日米金利差拡大を意識したドル買い・円売りもあり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。